

1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]	<b>事業箇所</b>	南巨摩郡身延町波木井	<b>地区名</b>	波木井の3 (ハキイノサン)	<b>事業主体</b>	山梨県
------------	------------------------------	-------------	------------	------------	----------------	-------------	-----

**(1) 事業の概要**

①課題・背景  
 波木井の3地区は、山梨県南巨摩郡身延町波木井に位置する急傾斜地であり、平成20年6月9日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。  
 当該斜面は平均斜面高29m、平均勾配35度の急傾斜地で、保全対象には人家12戸、共同住宅1棟 (換算12戸) があり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。

②整備目標・効果  
 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止  
 ・災害実績：無  
 ・保全人家戸数：人家12戸、共同住宅1棟 (換算12戸) >5戸以上※  
 ・重要公共施設の有無：無  
 ※評価基準値

□副次目標 —  
 □副次効果 —

**(3) 事業の妥当性評価**

①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当 妥当でない  
 ○

②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)  ○   
 急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。

③経済妥当性  ○

総事業費	430 百万円	工期	R4~R12	基準年	R3
経済効率性	費用	344 百万円	便益	2018 百万円	
	建設費	344 百万円	一般資産被害	623 百万円	
	維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	7 百万円	
			人的被害	84 百万円	
			その他※	1304 百万円	
	B/C			5.9	

※その他は応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失)  
 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。

④事業実施・規模の妥当性  ○   
 地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。

⑤整備手法の有効性  ○   
 地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。

⑥環境負荷等への配慮  ○   
 環境負荷の少ない工法を採用する。

⑦事業計画の熟度  ○   
 地元要望に基づいており、身延町から受益者負担金の同意は得られている。

**(2) 整備内容**

①整備内容 重力式擁壁工 L=180m

②着手年度 令和4年度                      ③完成見込年度 令和12年度

④総事業費 約430百万円  
 (国費:193.5百万円(4.5/10)、県費:193.5百万円(4.5/10)、その他:43百万円(1/10))

⑤年度別の整備内容 (事業費)

令和4年度	地形測量、地質調査、詳細設計	20 百万円
令和5年度	用地測量・調査、用地取得・補償	10 百万円
令和6年度	重力式擁壁工	50 百万円
令和7年度	重力式擁壁工	50 百万円
令和8年度	重力式擁壁工	60 百万円
令和9年度	重力式擁壁工	60 百万円
令和10年度	重力式擁壁工	60 百万円
令和11年度	重力式擁壁工	60 百万円
令和12年度	重力式擁壁工	60 百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費  
 未整備

**総合評価**

[貢献度ランク: b]

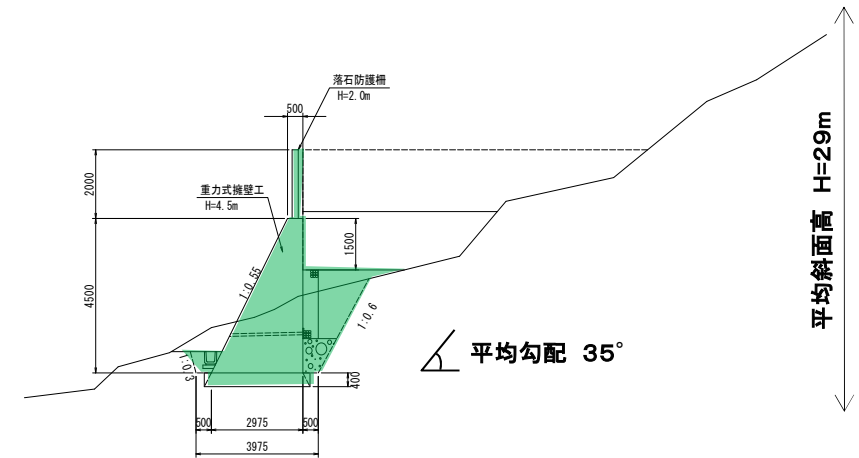
**(4) 事業位置図等**

## 2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断面図】



【写真】

① 保全対象: 共同住宅



② 斜面状況



- |            |   |
|------------|---|
| 計画範囲       | ■ |
| 土砂災害警戒区域   | ■ |
| 土砂災害特別警戒区域 | ■ |
| 保全対象人家     | ■ |
| 道路         | ■ |